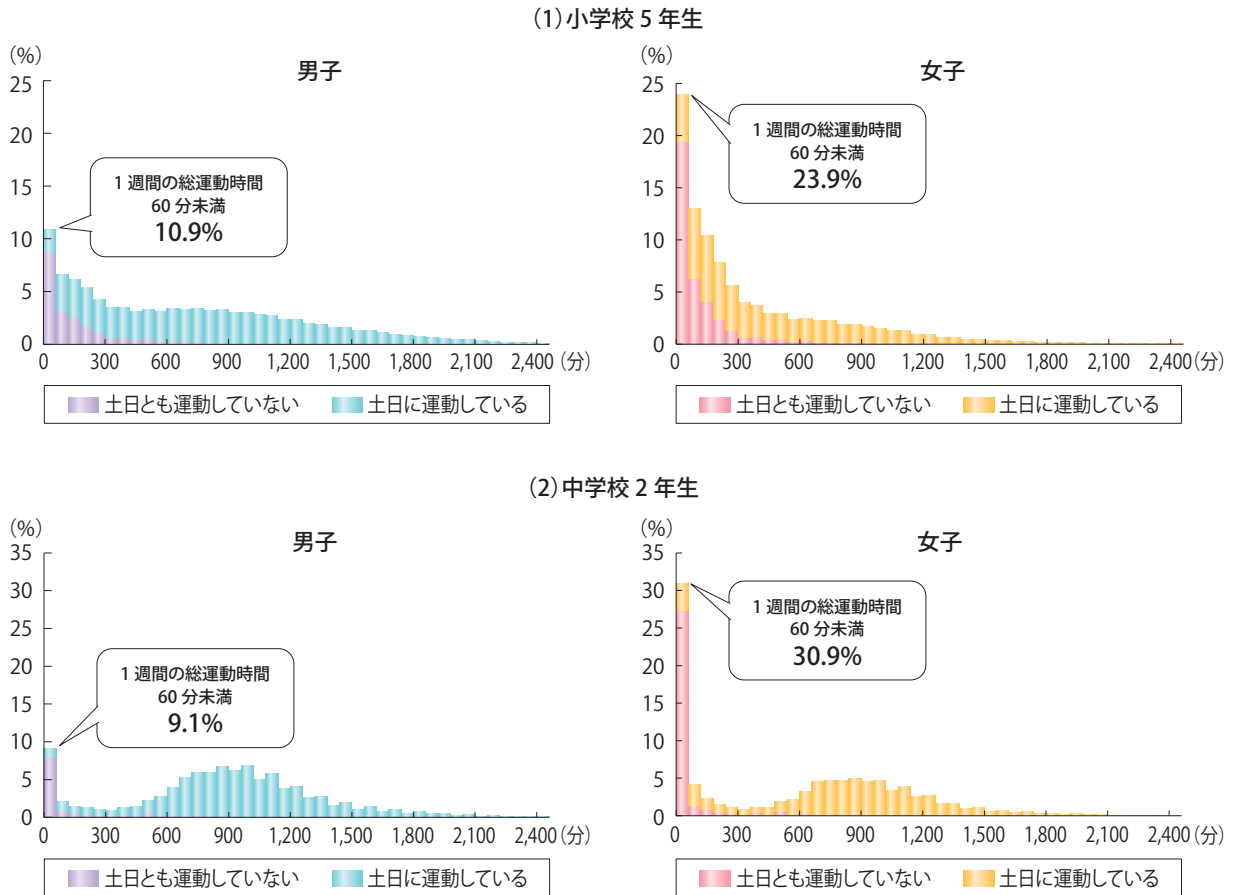


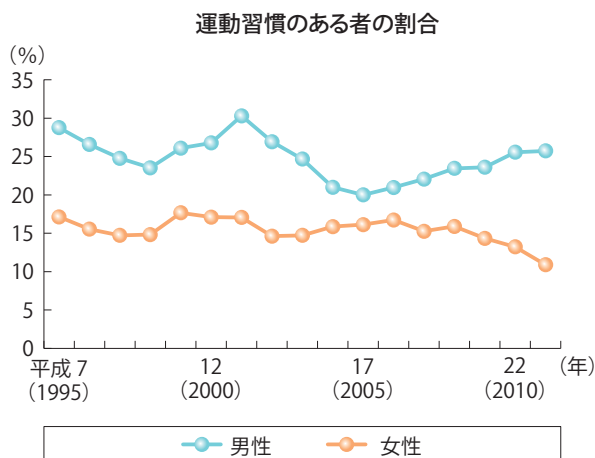
- 小学生・中学生の1～3割はほとんど運動をしていない。(図表8)
- 20代では、男性の約7割、女性の約9割は運動習慣がない。(図表9)

図表8 1週間の総運動時間（小学校5年生，中学校2年生）（平成24年度）



(出典) 文部科学省「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」

図表9 20代の運動状況



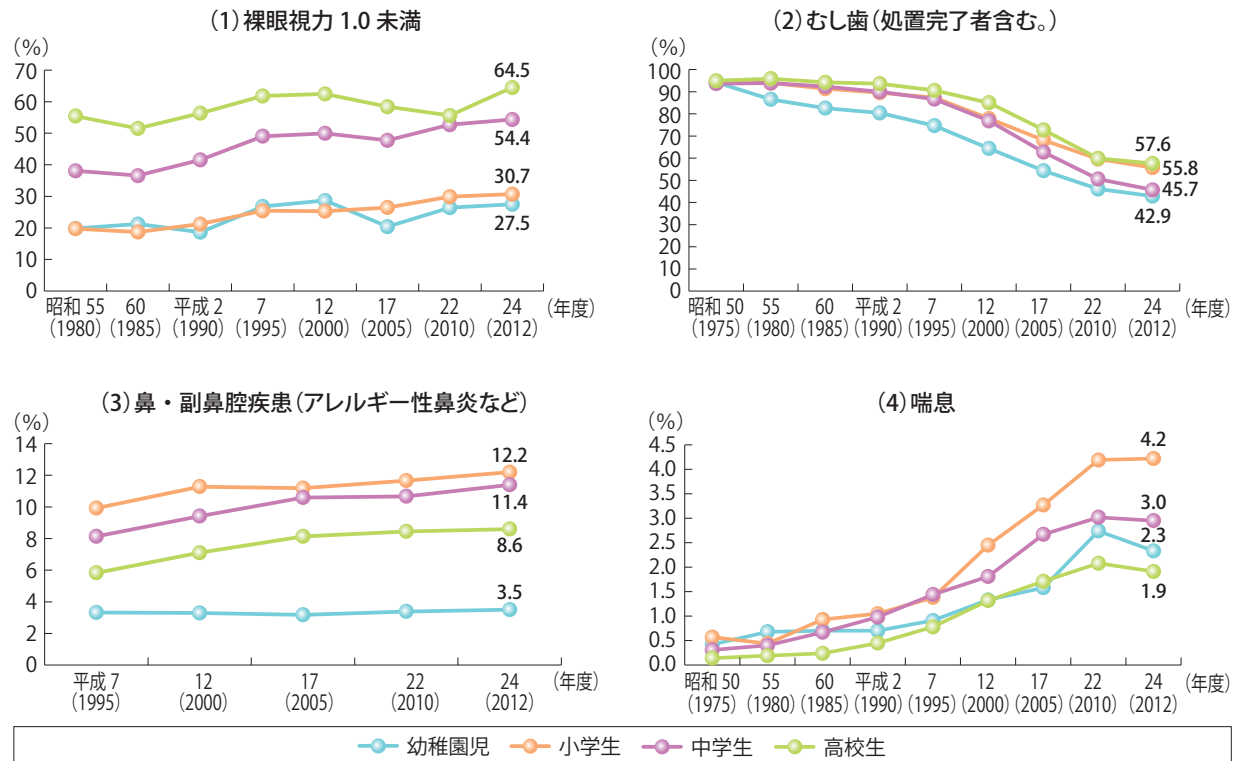
(出典) 厚生労働省「国民健康・栄養調査」
 (注) 1 運動習慣のある者とは、1回30分以上の運動を週2日以上実施し、1年以上継続している者。
 2 傾向を把握するため、後方3期移動平均の数値をグラフ化した。

第2節 疾病

1 主な疾病・異常の状況

○むし歯のある者の割合は低下しているが、1990年代後半からアレルギー性鼻炎や喘息の者の割合が上昇。(図表10)

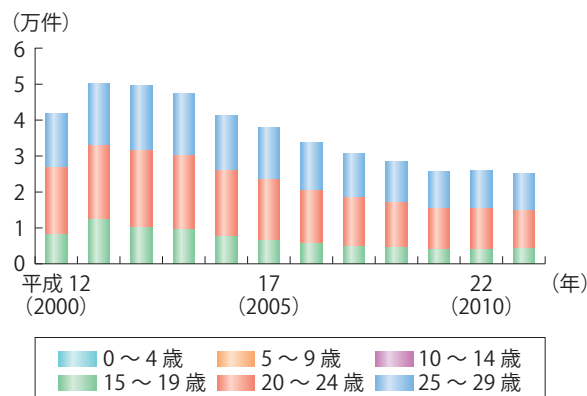
図表10 主な疾病・異常の状況



(出典) 文部科学省「学校保健統計調査」

○性感染者は減少，HIV感染者は増加傾向。(図表11，図表12)

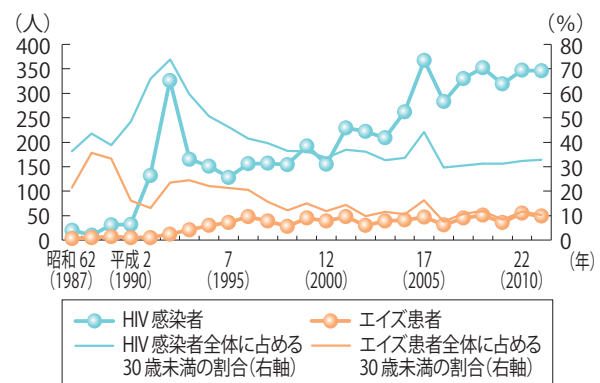
図表11 性感染症報告数(30歳未満)



(出典) 厚生労働省「感染症発生動向調査」

(注) 上記は、「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に基づき、指定届出機関(平成23年は全国937の医療機関)から報告される、性器クラミジア感染症、性器ヘルペスウイルス感染症、尖圭コンジローマ、淋菌感染症の4疾病の報告数を合計したものの。

図表12 HIV感染者・エイズ患者の新規報告数(30歳未満)



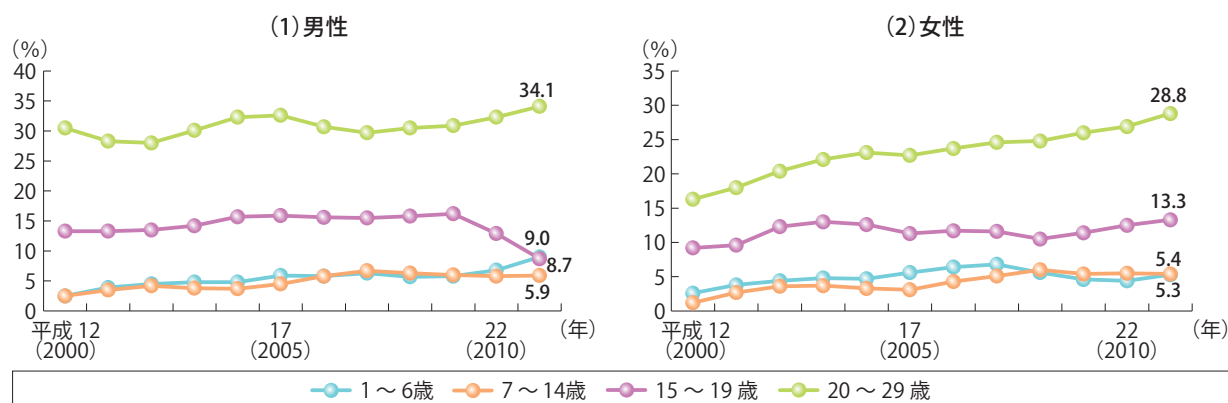
(出典) 厚生労働省エイズ動向委員会資料

(注) 日本におけるサーベイランス定義では、新規エイズ患者とは初回報告時にエイズと診断された者であり、すでにHIV感染症として報告されている症例がエイズを発症するなどの場合は含まない。

第3節 食育

○30歳未満の朝食の欠食率は上昇傾向。年齢が高くなるほど欠食率が高くなる傾向。(図表13)

図表13 朝食の欠食率



(出典) 厚生労働省「国民健康・栄養調査」

(注) 1 欠食とは、次の3つの合計である。

- ①食事をしなかった場合、②錠剤などによる栄養素の補給、栄養ドリンクのみの場合、③菓子、果物、乳製品、嗜好飲料などの食品のみを食べた場合

2 平成22年までは3期移動平均の値であり、平成23年は単年の値。

第3章 成育環境

第1節 教育

1 在学者数と進学率

(就学前教育・保育)

○幼稚園在園者は160万人、保育所利用児童は218万人。(図表14)

(義務教育以降)

○義務教育課程と高等学校教育課程の在学者数は減少続く。高等教育課程の在学者数はほぼ横ばい。(図表15)

(進学率)

○大学・短期大学への進学率は50%超。(図表16)

(特別支援教育)

○特別支援教育を受けている者は、365,941人で全体の2.4%。(図表17)